



にぎわい創出のきっかけに — 「カヌマ コモンズ」 オープン —

市がUR都市機構と進めてきた「リノベーションまちづくり」の拠点施設「kanuma commons（カヌマ コモンズ）」が9月17日、鹿沼銀座通りにオープンし、市長たちによるテープカットが行われました。

「カヌマ コモンズ」は、地域において人と人が出会い、つながるきっかけの場となることが期待されており、1階は「小商いスタンド」、2階は会員制のコミュニティスペースとして利用される予定です。

ごみ拾いを通して環境問題を実感 — エコライフ・フェアin西大芦 —

9月11日に、大芦川流域のごみ拾いを通して環境問題への意識啓発を図るイベント「エコライフ・フェアin西大芦～西大芦クリーン大作戦～」が開催されました。

ごみの種類や重さに応じたポイントで競い合う内容で、40チーム・143人が参加。地域住民の方と交流を深めながら、河原や道路沿いに捨てられたペットボトルやBBQごみ等を拾いました。約1時間の内に集められたごみの量は、116kgにも上りました。



私達の健康は私達の手で — 市食生活改善推進委員会「栄養関係 功労者厚生労働大臣表彰」受賞 —

9月2日、市食生活改善推進委員会は、全国食生活改善大会において「栄養関係功労者厚生労働大臣表彰」を受賞したことを市長に報告しました。現在、市の食生活改善推進員は156人。昭和62年の設立以来、地域での料理教室やイベント等で減塩や「3つの器（主食、主菜、副菜）」の普及啓発を続けています。

これからも地域の健康づくりの担い手として活動していきます。





災害を「我が事」として考えよう — 菊沢防災体験大作戦 —

9月24日に、菊沢地区で防災に関する活動を行っている「菊沢きずなプロジェクト実行委員会」主催の防災体験大作戦が菊沢コミュニティセンターで開催されました。

参加者は、スタンプラリー形式で各コーナーを回り、不整地での手押し車体験や自分だけの防災ライトづくり、紙芝居による読み聞かせなどを通して、防災について楽しく学ぶことができました。

若手小説家によるトークショー開催 — 藤石波矢さん かぬまふるさと大使に —

連続ドラマ『今からあなたを脅迫します』の原作や、『ネメシス』への脚本協力など、多方面で活躍されている藤石波矢さん。9月24日の鹿沼市民文化祭の開幕式アトラクションとして開催されたトークショーに登壇し、ふるさと・鹿沼市への思いを熱く語ってくれました。

またこの日、藤石さんを「かぬまふるさと大使」として改めて任命。新著の発刊や脚本協力映画の公開なども予定されるなど、今後の活躍にますます期待が高まります。



スポーツが活力を与えます

— 国体・デモンストレーション スポーツウォーキング —
— 国体・公開競技 武術太極拳 —

「歩けばあえる、いろいろな顔のわたしのまち」をテーマに、いちご一会とちぎ国体のデモンストレーションスポーツであるウォーキングが9月10日に実施されました。当日は天気に恵まれ、文化活動交流館をスタートした参加者は市内を闊歩し、鹿沼の魅力を存分に体感する1日となりました。

また、24日～25日にかけて、TKCいちごアリーナでは武術太極拳が行われ、こちらは圧巻の演技で会場を大いに沸かせました。

広報かぬま1月号で「いちご一会とちぎ国体・大会」の特集を予定しています。